

恩林寺弘報

暑中お見舞い申し上げます

住閑職栖前田貴洲堂

奉讀会役員一同

### 新型コロナウイルス感染拡大防止のお願い

檀信徒徒各家におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は寺門興隆にご理解ご協力を賜わり、謹んで敬意を表します。また葬儀や法事、当山への来山時など、感染拡大防止へのご理解ご協力に対しましても、心より敬意を表します。引き続き予断を許さない状況下でございます。感染拡大防止へのご理解ご協力を、心よりお願い申し上げます。また諸行事等につきましても、今しばらく中止、縮小の方向を継続させて戴きますので、重ね重ねになりますが、ご理解ご協力を、よろしくお願い申し上げます。



謹んでお見舞い申し上げます。合掌

「ウラボン」と「盆」

これとは別にイラン語の「ウルヴァン」の音写であり、「靈魂」の意味があるとされ、イラン民族の死者の「靈魂信仰」が農るとされ、イラン民族の死者の「靈魂信仰」と農耕と収穫が結びつき、それが西域から中国へ伝わったとの説もあります。また日本では、ミタマや精靈へささげる供物・布施を載せる器物の「ボニー」（日本の古語）すなわち「盆」に由来しているともいわれています。

No 121  
臨濟宗建長寺派東光山恩林寺  
電 話 ○二七六一八八一三五六四  
F A X ○二七六一八八一四一三三一  
郵便番号 三七〇一〇六〇一

孟蘭盆經の「亡母救濟」

「孟蘭盆經」の「亡母救濟」

**お盆の準備**  
宗派や地域によって異なる場合もありますが  
お盆を迎える準備として、前もって仏壇や仏具を  
を清めておきます。そして墓掃除も丹念にして  
おきましょう。

事と繋がります。  
四世紀頃、中国において成立した「孟蘭盆經」には、「神通第一」と称される自尊者などが、亡き母が「餓鬼道」に墮ち苦しんでいるのを見て嘆き、母を救うためにお釈迦さまに相談し、「自恣日」に修行者にご馳走をささげたという逸話が記されています。これが中國や日本などの「盂蘭盆」「盆」行事のはじまりとされています。

ご先祖の靈をお迎えする為に準備はしつかりしておきたいものです。お盆に帰つて来られるご先祖を「精靈さま」と呼びます。その為にしつらえるのが「精靈棚」です。「精靈棚」は、帰つて来られたご先祖様がしばしの休息をする場所です。果物や野菜などを供え、ご先祖様をもてなすのです。「精靈棚」のキウリの馬、ナスの牛は、ご先祖様の乗り物とされています。

食をいただくありがたさ



●送り火（八月十六日）

です。送り火はご先祖が迷わず帰れるよう、照らしてあげるもののです。

て今に生き続けているです。文化とはそういうもので、お施餓鬼は日本の美しい国民的宗教文化です。こういうものを粗末にしてはいけません。

僧侶養成の専門道場では、食事は食事作法にしたがいます。まず用意した小皿に餓鬼のための食事（七つのご飯つぶり生飯）を取つてから食事をいただきます。これを、あとで乗せて野鳥に施します。

これは、今こうして食事をいただくことのできる幸せを感じ、餓鬼にもおすそ分けをして、思いやりや施しの心を喚起するためのつづましい習慣です。そして、一日の最後のお勤めとして修行僧全員で『施餓鬼經』を読誦し、餓鬼供養をします。

お盆の期間に営まれる行事は「施餓鬼会」です。この行事は、餓鬼に食物を施す事によって六道の一つ餓鬼世界で苦しんでいる餓鬼を救う行事です。もし自分の先祖が餓鬼世界で苦しんでいるとしたら、何としても救つてあげたいものです。餓鬼は自分の力では苦しみから脱する事はできません。施餓鬼の供養がその救いの道とされている、究めて功德の大きい行事です。

●**「送り盆」時のお願い**

各家精霊棚にお供え戴いて居りました供物につきまして、「ナス」「キユウリ」については当山にて処分致しますが、それ以外の供物等につきましては寺へ持ち込みます、ご自宅にて処分戴きます様、ご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

